

各学科の学習（実習）の様子

看護学科

日常生活援助技術を修得する看護技術論Ⅰでは、歯科衛生士（本学元教員）を外部講師にお招きし、口腔ケア技術を学びました。4年生最後の実習となる地域看護学総合実習では、医療的ケア児・者の方から防災対策を学ぶインタビューを行い、当事者の立場からの貴重な意見を元に、看護職の役割を深く考えることができました。

地域看護学総合実習（4年）



看護技術論Ⅰ 口腔ケア演習（1年）



看護技術論Ⅰ 口腔ケア演習（1年）

い
づ
み

栄養学科

傷病者の栄養指導計画や献立作成、調理を通して栄養食事療法を学修します。これは糖尿病患者の栄養管理計画で立案した献立を調理しているところです。出来栄え、評価はどうだったでしょうか。

臨床栄養学実習（栄養学科2年）



食品化学実験（栄養学科1年）



食品成分の周知は管理栄養士業務において重要な項目です。この実験では食品成分分析を通じて、基本的な化学実験と遂行する力と技術を獲得します。たんぱく質の定量では、硫酸を使用するため保護メガネを着用して慎重に進めていきます。

いづみ
第29号 冬号

令和7年2月1日発行

千葉県立保健医療大学
後援会
〒261-0014
千葉市美浜区若葉2-10-1

題字揮毫
山浦 晶 初代学長



写真①

歯科衛生学科

マネキンを用いた実習（写真①）や、学内の歯科診療室において教員に指導を受けながら歯科診療補助の実習（写真②）を行っています。また、学外での臨床実習にむけて注射器の取り扱いの練習などを行っています（写真③）。写真是3年生の春～秋にかけての実習風景の一コマですが、お互いに教え合ったり、確認しながら着実に専門的な技術・知識を身につけています。



写真②



写真③

リハビリテーション学科 理学療法学専攻

理学療法学専攻では、基礎科目で学んだ知識や理論を、実技・演習によって理解をより深め、実習や卒後の臨床現場で活かせるように日々学んでいます。シミュレーターや機器を用いた実技もあり、お互いに練習し合い、技術を身につけることで少しずつ思い描く理学療法士像に近づいています。



物理療法学演習（2年）



内部障害理学療法学演習（3年）

リハビリテーション学科の「ホームカミングデイ」

が集まり、今後のキャリアや現在の仕事について語り合いました。皆さんがそれぞれの分野で中核を担っている姿が頼もしく感じられました。これまでに作業療法士だけで300名近くを輩出しています。

在校生たちは、国家試験や臨床実習、専門的な学習や演習に励んでいます。大学での学びを通じて、縦と横のコミュニティを促進し、将来の「ホームカミングデイ」への参加を楽しみにしています。

先日、10月19日にリハビリテーション学科の卒業生同窓会「ホームカミングデイ」を開催しました。理学療法士と作業療法士約80名

作業療法の要素として「いきる」「つくる」「たのしむ」があげられ、園芸もその要素に含まれます。

園芸の治療的な活用は作業療法にとって重要な知識になります。卒業生の中には、農学部修士課程で園芸の研究をしている者もいます。今後の発展が期待される分野です。

基礎作業学実習（園芸活動）

リハビリテーション学科 作業療法学専攻

看護師として就職

- 病院等（県内）
- 採用試験日が4年生の4月だったのですが、実習の事前課題と授業で多忙だったため対策に時間が割けず大変でした。正直ほとんど対策せず当日を迎えました。
- 私は病院の奨学金制度を利用するため、高校生の時に就職先を決めていました。それによって就職活動にかかる時間が少なかったのはよかったです。しかし、実習を通して「この病院・この領域いいな」と思っても就職先を変えることができなかつたので、就職先は焦らずじっくり決めることが大切だと思いました。
- 相談し合える・一緒に頑張ることができる友人ができたことがよかったです。真面目な学生が多いので勉強や看護研究と一緒に取り組め、悩み事を親身に聞いてくれる友達もいてとても支えになっていました。また、付属の病院がない分、様々な病院に就職している友達が多いため、卒業後いろいろな病院の話を聞けるのも個人的には良い点と感じています。

管理栄養士として就職

- 官公庁（県内）
- 公務員の教養試験対策をする際、対策の仕方が合っているかわからず、不安なまま勉強を続けていたことがつらかったです。また、面接試験では3自治体の日程が近く、それぞれの面接カード作成や面接練習の時間をうまく配分することが難しかったです。
- 行政や食育に関わるボランティア活動に積極的に参加すると良いと思います。アンテナを高くして、募集があればチャレンジしておくと、職種の選択や面接対策の引き出しが増えると思います。失敗経験があると面接や小論文でなお役立ちます。勉強が忙しいと思いますが、課外活動にも積極的に取り組んでみてほしいです。
- 実習や国試でつらい時期に、全員で頑張ろうという一体感があったことがとても心強く感じられました。落ちていた雰囲気で勉強に専念できた点も保医大ならではだと思います。

管理栄養士として就職

- 病院等（県内）
- 就職試験の時期が遅かったため、仲間の多くは就職先が決まっていたこと、卒論の時期と重なったことで、不安に負けてしまいそうな時がありました。大切なのは自分が働きたい所で働くことだと自分を奮い立たせ、最後まで諦めずに準備に取り組み採用通知をいただくことができました。
- 就職して毎日が実践の場となり、1・2年次に学習する基礎知識の重要性を強く感じています。目の前のテストのためだけでなく、臨地実習、国家試験、そして管理栄養士として働くことを想像しながら、先へ先へと意識を向けて知識と実践力を高めてほしいです。
- 少人数のためクラスの繋がりが強く、励まし合いながら目標に向かって努力できる環境でした。また、先生方には、専門的な知識に加え、社会の常識やマナーも手厚くご指導いただきました。大学時代に学んだ“人との関わり方”が、社会で活かされる場面が多くあります。先生方と1対1のコミュニケーションを通して、数多くのことを直接学ぶができるのは、少数精鋭教育の大学だからこそだと思います。

卒業生からのメッセージ

令和5年度に卒業された方々から在校生の皆さんへ向けて、就職や進学、大学のことなどについて、アドバイスやメッセージをいただきました。

- 就職または進学先
- 就職または進学で苦労したこと
- 在校生へのアドバイス
- 保医大でよかったこと

保健師として就職

- 官公庁（県内）
- 就職で苦労したのが、試験のための勉強です。一次試験で一般教養と専門分野の試験、二次試験で面接があつたので、4年次の実習の合間や夏休みを使って必死に対策しました。
- 行政保健師になろうと決意したのが3年生の2月でした。そのため、5月の公務員試験の対策は、春休みに詰め込みました。とても焦ったので、もっと早くから、国試対策だけでもしておけばよかったと思います。また、面接ではその自治体を志望した理由が最も重要な理由になります。実習でもプライベートでもなんでもいいので、その地域に実際に実際に行って経験したことがあると、強みになります。
- 就職の準備段階では、保健師を目指す友人と自治体の情報交換をしたり、先生たちに頼んで手厚く面接対策してもらったりと、大変ながらも思い出に残る就活ができました。千葉市には保医大出身の同期や先輩がたくさんいます！また、県の保健師修習でも保医大の同期に会うのでとても心強いです。就職してからも励まし合える友人と出会えてよかったです。

助産師として就職

- 病院等（県内）
- 実習や課題など日々何かに追われている中での就職活動であつたため、とても辛い時期だったと思います。就職活動に割く時間を十分に確保することが難しく、最低限の準備で不安を感じながら試験に臨んでいました。
- 1・2年生のうちは必修の科目が多く課題に追われる日々だと思いますが、説明会に参加するなど少しづつ就職先の候補を考えておくと良いと思います。実習に行ってみて自分がどんな看護をしたいのか、就職先を選ぶ上で何を大事にするかなど、自分が実際に働くことを想像し、候補を絞ると良いと思います。就職活動は、ハローワークを利用して書類作成を行ったり、ゼミの担当の先生に添削をしてもらったりしながら準備を行いました。早め早めに行動に移すことが大事です。同じ就職先を志望する友人や助産課程の仲間などにも相談をしながらなんとか乗り切ったので、お互いに支え合って頑張ってください。
- 他学科の学生と共に学ぶことができる点は、貴重だと思います。実際に就職してからも多職種との連携は求められますし、とても良い経験になったと思います。また、辛いときに励ましてくださる先生方がいらっしゃることが良かったです。

理学療法士として就職

- 病院等（県内）
- 実習で心身ともに疲弊している中、就職先を決め、就職説明会に参加することはとても大変でした。また、実習が終わるとすぐに就職試験が予定されていたため、実習中の試験対策も大変でした。実習が始まる前に予め興味のある就職先を絞っておくことをおすすめします。
- 全力で学生生活を謳歌してください。私が学生時代はコロナの影響により行動が制限されていましたが、現在は制限が緩和され様々な経験が可能となりました。遊び・勉強・アルバイトなど、今しかできないことを全力で楽しんでください。就職してからも勉強の日々なので学生のうちに勉強する習慣を身につけていられると社会人になってからも勉強が苦になりません。
- 横や縦のつながりが強いことです。社会人になり職場で苦労することが多くあります。そんな時に、アドバイスをくれたり、相談に乗ってくれるのは大学時代の友人や先生方です。また、2024年からホームカミングデーという卒業生と先生方との交流会が開催されました。卒業生は1期生から参加しており先輩方に臨床現場での悩みごとなどを相談できます。

作業療法士として就職

- 病院等（県内）
- 就職試験の難易度に対し自信をなくしていました。しかし、大学の先生方は親身になって相談に乗ってくださり、書類の添削や面接におけるアドバイスをくださいました。また、卒業された先輩でチューター制度による繋がりがあった方が現職場におられ、その方からも貴重な情報をいただくことができました。そのため、徐々に自信を取り戻し落ち着いて試験を受けることができました。
- 学生時代、「自分には何ができるか」をよく考えていました。先生方の資料配布のお手伝い、クラス内会議のファシリテーター、困っているようなクラスメイトへの声かけ…など。常にとは言いませんが、周りを見て自分にできることを探し実行していました。社会人になった今でも役に立っているので、是非実行してみてください！
- 先生方、先輩方、そして友人みんなが本当に温かいです。少人数であるためより繋がりが充実しており、とにかく温かく素敵なお方に恵まれたと感じております。とくに、友人とは今でも頻繁に連絡を取っており、定期的に会い近況報告をしているので、別々の道に進んだ現在でも心の支えになっております。

作業療法士として就職

- 病院等（県内）
- 自分の強み、専門職としての具体的な将来像を上手に伝えられないことが特に苦労しました。先生方やハローワークのスタッフの方々に、履歴書の添削・面接練習をたくさんしていただき、話す練習することで考えもまとまり本番でも自分の考えをしっかりと伝えることができました。
- 私は12期生はコロナ禍での入学だったこともあり、対面授業の制限や実習の延期もありました。対面での授業でしか得られない経験・技術の学びがたくさんあると感じます。友人や先生方と一緒に活動・授業内容だけでなく課外活動・プライベートでもたくさんの充実した思い出を作っていました。大学時代での苦労・笑い話・経験が就職してからも活躍する場面が出てくるため、たくさんの経験・思い出を作ってください！
- 1つ目に、先生方・クラスメイトと密に関わることができると思います。国家試験勉強についても先生方が密接に関わってくれるため、頼れる環境が整っていると感じます。また、少人数のクラスであるため、クラスメイトと仲良く素敵な大学生活を過ごせます。2つ目に、千葉県の地域性や医療の特色を学ぶことができます。特徴科目では千葉県の医療の実際や地域にある施設を通じて千葉県の地域の特性を学ぶことができます。実習先は千葉県内が中心であるため千葉県それぞれの地域での医療の必要性・地域での環境の特色の違いも経験することができます。千葉県で就職するにあたり、千葉県を知っていることは強みになると思います。

歯科衛生士として就職

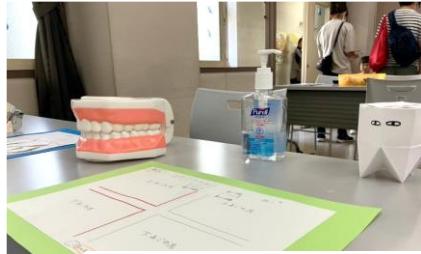
- 病院等（県外）
- 就職試験の科目が一般教養であったため、歯科衛生の専門的分野ではない科目を勉強しなければならなかった事です。
- 私自身の経験から、履歴書の記入や面接は多くの人に見てもらい、沢山助言を頂く事が大切だと実感したため、ジョブカフェなども活用しながら準備すると安心だと思います。また、実習などは、周囲の人達と協力して成し遂げることが多かったです。しかし、就職試験は個人の戦いになるので負担に感じる方も多いと思います。しかし、決して1人ではなく先生方やクラスの人達、家族がいつでも応援してくれていることを忘れずに頑張ってください。
- クラスメイトが意識の高い人が多く、挫けそうになんでも「みんな頑張っているから頑張ろう」という気持ちになれ、向上心を高めることができました。就職試験の面接練習に先生方が協力してくださったり、親身になってアドバイスをくださったことにより、自信を持って試験当日を迎えることができました。また、希望していた就職先に就職した先輩からアドバイスを受けた事がとても良かったです。

歯科衛生士として就職

- 病院等（県内）
- 実習や卒業研究等と並行しながら就職先の検討や見学の時間を確保したことです。自分が歯科衛生士としてどのように働いていきたいのかが明確にならず、就職先の選択が大変でした。
- 就職先を選択するにあたって、予防に特化した医院や小児メインの歯科医院、訪問歯科に力を入れている医院など、歯科医院の数は多くあり選択に迷うと思います。そんなときは、自分が歯科衛生士としてどのように働いていきたいか、診療補助が好きなのか予防処置や保健指導をするのが好きなのかなど日々の実習の中でイメージしながら考えてみると何をメインにして働いていきたいのかが明確になると思います。
- 親身になって相談に乗ってくれる先生方やいつも優しく温かい友人達と繋がれたことです。この繋がりがあったことで、辛い実習や国家試験勉強を乗り越えることができました。また、他学科との交流も多くあるため他職種との関わり方などを学べ、将来に活かすこともできました。

理学療法士として就職

- 病院等（県内）
- 自分が行きたい分野が明確に決まったのが遅かったため、そこから情報収集を行い短い期間で就職活動を行ったことです。具体的には、就職先を決めたのがその病院の就職試験の約2~3週間前だったため、必要書類や試験・面接対策を行うことが大変でした。
- OFFの時間を大切にしてください。授業や実習、国家試験などで大変なこともあると思いますが、一息つくことで集中力が増したりやる気が出たりします。また、夏休みや国家試験後の休みには旅行に出かけるなど非日常を沢山体験してください。様々な経験をすることで自分の視野が広がり、社会に出たときにきっと役に立つと思います。
- 卒業研究を一人一つ行うことです。就職してからでは研究の方法や論文の書き方、発表の仕方などを詳しく学ぶことはとても難しいと感じています。授業で研究の方法を学ぶことで、臨床で研究をしたいと思った際のハードルが下がり自分のしたいことが実現できると考えています。



いすみ祭

今年度は10月13日(日)、14日(祝)の2日間に渡り、いすみ祭が開催されました。



新入学生の保護者の方へ

今年度、多くの新入生のご家庭が保医大後援会にご加入くださいました。誠に有難うございます。

保医大後援会は、学生のキャンパスライフをサポートする為に活動しています。皆様からお預かりした後援会費は、学生会活動、就職に関わる講習会や国家試験や模擬試験、TOEICやTOEFL受験の補助、学生生活が円滑に進む設備補助等に充てさせていただいております。

未加入のご家庭におかれましては、是非ともご加入をお願いいたします。申し込み方法、ご入金の方法をご案内いたします。下記メールアドレスまでご連絡ください。

後援会活動へのご意見・ご感想はこちらまで
✉ mail@hoidai-kouenkai.com



後援会HP

卒業記念品

平成25年3月の保医大第1期生から、後援会より卒業記念品としてスクールカラーである水色の卒業証書入れと「訂正印付き3機能ネーム印」を贈呈しています。

ネーム印面は卒業生の皆さんのが後から注文し、はめ込むタイプのもので、大変好評です。

